

行事予定

- 12月31日(木) 除夜の鐘 ※縮小開催
- 1月7日(木) 大般若会
- ※縮小開催・新年会は中止
- 2月7日(日) 開山忌 宿忌 ※中止
- 2月8日(月) 開山忌 半齋
- 3月20日(土) 春季彼岸会
- 6月中旬 第142回 三峰榛名講
- 7月13日(火)〜15日(木) 棚経
- 7月17日(土) 孟蘭盆施餓鬼会
- 7月末 納涼盆踊り大会(予定)

龍雲寺墓地について

この度、三軒茶屋側の出入り口の改修工事を行いました。それに伴い、護美箱を屋根のある水屋側に統一させて頂いたいただきます。ご不便をおかけして申し訳ありません。

また、業務用ゴミ回収につきまして分別がとて厳しくなっております。ビン・缶・ペットボトルをはじめ「燃えないゴミ」は、捨てずにお持ち帰りいただくようお願い申し上げます。

地域の方々にご迷惑をおかけしないためにも、ご理解ご協力のほど何とぞよろしくお願い申し上げます。

龍雲寺総代世話人・龍雲寺

年末年始諸行事について

- ・十二月三十一日 除夜の鐘
龍雲寺関係者のみで鐘をつかせていただきます。檀信徒の皆様、一般の皆様には誠に申し訳ありませんが、今年については誠にできません。また、甘酒の振る舞いも中止いたします。お参りと破魔矢は例年通りと行わせていただきます。
 - ・一月五日 金毛会獅子舞
今年も中止とさせていただきます。
 - ・一月七日 大般若会
午前中に和尚様方のみ疫病退散祈禱を挙行いたします。(ご参加いただけません)
午後1時から4時まで、本堂で「焼香賜り、祈禱いたしました疫病退散の御札をお渡しさせていただきます」。
 - ・二月七日 開山・創建・中興三祖忌宿忌は寺内のみで風経をし、例年通りの行事は中止とさせていただきます。
- 中止や縮小につきましては誠に残念ではございますが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、何とぞご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。



門前駐車場にパンジーを植えました

編集後記

○寒い日が続いていますが皆様いかがお過ごしですか？新型コロナウイルスで今まで経験した事の無い年でした。○今年、うるう年なので四国八十八ヶ所巡拝を方丈さんと2人で仲良く？逆打ちしました。逆打ちとは1番札所から順番にお参りするのではなく88番札所から1番札所へ巡拝します。今回コロナウイルスの感染者が少し落ち着いた10月24日から28日の3泊4日で88番から39番札所まで巡拝しました。各お寺に着くと本堂でご本尊様に般若心経、ご真言などをあげて大師堂に移動して同じ様に般若心経などをあげます。山道や坂道、階段も多く大変でした。10才年上で今年11月に80才になった方丈さんは私の後ろを3歩ではなく30歩位離れてマイペースで歩いていました。一緒に並んで歩く事もあります。方丈さんは、ゆっくり歩くので先に行く様に言われます。○御詠歌は10月から月に3回本堂でマスクや住職が用意してくれたフェイスマシールドをして換気を良くして練習後のお茶飲みは離してペットボトルのお茶と持ち帰り用のお菓子を用意し消毒もしてコロナ対策をしています。○毎日手の消毒をしていたら魔女の手の様に皺だらけになりました。○新しい年は本堂に良い年にしたいですね。お元気で。 要子

臨済宗妙心寺派

龍雲寺 花園会報

二〇二二年 正月号

監修／細川 晋輔 編集／細川 要子

〒一五四一〇〇〇三
東京都世田谷区野沢三一三八一

TEL〇三―三四二一〇二三八
FAX〇三―三四一八一九八六三

野沢龍雲寺 検索

ご挨拶

新命住職 細川 晋輔

令和三年の元旦を迎えました。新年明けましておめでとうございます。檀信徒の皆様方におかれましては、それぞれの思いで新年を迎えられたことと存じます。

昨年はやはりコロナウイルス感染症の影響で、お彼岸やお盆の行事の縮小開催にはじまり、坐禅会、写経会や法話会も休止となり、再開の見込みも立っていないのが現状です。江戸時代から続く三峰榛名講も私のみの代参となり、盆踊りやお餅つき、除夜の鐘も例年のようにとはいきませんでした。

龍雲寺ではこのコロナ禍の中、境内の外壁工事も無事終了し、本堂や山門のペンキも塗り替えいたしました。十一月には安全を鑑み環七駐車場の大型看板を撤去し、龍雲寺が現在地に移転した時ぶりのアスファルトの改修工事を行いました。小さいところでは本堂のマイク設備を新調いたしました。私どもといたしましては、一日も早く皆様とマスクなしでお目にかかれる日がくることを願ひながら、お迎えする準備を整えております。

今年も早稲穂という事で、お配りさせていただく暦に「歩歩清風起くる(ほほせいふうおこる)」という禅語を添えさせていただきます。

できました。一步一步進むことに涼しい清々しい風が吹いてくるという意味になります。赤べこの由来には、平安時代に蔓延した疫病を払った赤い牛の伝説もあるそうです。

想定外の事ばかりに振り回される私たちは、まず立ち止まる必要があるのです。感染症によってこれほどの影響があると誰が一年前に予想していたでしょう。想定通りのことよりも、むしろ想定外のことばかり。であるならば、混沌として先が見えない世界だからこそ、しっかりと足もとをみて一步を踏み出すしかないのです。その一步一步の先にこそ、きっと幸せがあるはずなんです。

新しい年の新しい月の日を迎えるにあたり、ぜひ清々しく着実な一步を踏み出されますことを、心より祈念致しましてご挨拶とさせていただきます。

大般若会

令和三年一月七日(木) 午後一時より
午前中 大般若祈禱(感染症対策のためご参加いただけません)
午後一時〜四時 ※お参りいただけません
ご焼香・祈禱した疫病退散の御札を配布いたします。

※お申し込みは不要です。換気など留意してお待ちしております。

奉納式文書

◆柳田泰山先生 百寺納経の縁をいただいで
令和二年十二月三日、秋晴れの天気のもと、柳田泰山先生の納経式が龍雲寺で行われました。コロナ禍の中、当初予定していた盛大な式こそかなわなかったものの、般若心経の唱和、ご詠歌奉詠、目録授与、先生のご挨拶と厳肅に執り行うことができました。柳田泰山先生をはじめ関係各位に感謝申し上げます。

柳田先生と龍雲寺のご縁は、令和元年に浜松で行われた龍雲寺様での晋山式になります。そこで先生に初めてお目にかかったわけですが、龍雲寺の檀家に先生のお弟子さまがいらっしゃったこと、私の祖父である松原泰道師とご面識があったことなど、親しくお話いただき、この百寺納経のご縁をいただくこととなったのです。

禅宗は、よりどころにする経典がありません。その中で私にはぜひ納めていただきたいものがありました。それは、松原泰道師が大切にされた四弘誓願文という誓いの経典です。

【四弘誓願】
衆生無辺誓願度
救つても、救つても、救いきれない衆生かもしれないが、誓つて救わんと願う。
煩惱無盡誓願断
断つても、断つても、断ち切れない煩惱かもし

れないが、誓つて断たんと願う。
法門無量誓願学
学んでも、学んでも、学びきれない法門かもしれないが、誓つて学ばんと願う。

仏道無上誓願成
明きらめても、明きらめても、明きらめきれない仏道（悟りの世界）かもしれないが、誓つて明きらめんことを願う。

江戸時代の白隠慧鶴禪師は次のような言葉があります。

「不二の門に入得するも、菩提心無ければ魔民に墮つ。若し人、法成就に到たらんと欲せば、須く四弘の願輪に鞭うつべし。」

「不二の門」とは悟りの世界のこと。「菩提心」とは人を救うという心を表します。自分のことは差し置いて、目の前で悩み苦しんでいる人（衆生）を何とかしてあげたいと思う願いの心のことです。

たとえ厳しい修行を積んで、悟りの世界に入ることができたとしても、菩提心が無ければ魔道に墮ちてしまふ。それでは、本当の仏道修行者とは言えない。本当の修行の成就を成し得ようと思えば、四弘誓願文を生懸けて行じることが不可欠であると白隠禪師は示されるのです。

「上求菩提」と悟りを求めて道を究める修行が剣を振り上げるものであるならば、その剣を「下化衆生」と振り下ろさなければなりません。その大切な「下化衆生」の行いこそが、「四弘誓願」

の実践に他ならないのです。そういう意味でも大乘仏教である臨済宗において、「四弘誓願」は根幹ともいえる経典と言えるのです。

四弘誓願の実践は、まるで雪で井戸を埋めていくようなはかない行いかもしれません。一生涯かかっても成し得ることが叶わないかもしれません。それでも愚の如く魯の如く、永遠の目標に永遠に努力していくその姿勢にこそ、禅の心があると教えてくれるのです。

柳田先生にお納めいただいた「四弘誓願」と「般若心経」を、四弘の誓願を忘れぬためにも、お寺の宝として大切にさせていただきたいと心に誓った奉納式でした。



新命住職・新著のご案内

大好きなスタジオジブリ様とのご縁いただき、徳間書店様より新著「禅の言葉とジブリ」を上梓させていただきましたことになりました。小学生の時、テレビで初めてトトロを観た頃には、こんなことになるなんて夢にもおもいませんでした。
イラストはスタジオジブリ・プロデューサーの鈴木敏夫さんが描いてくださいました。お手にとっていただければ、幸いです。



※先日行われたスタジオジブリ・鈴木敏夫さんとのYoutubeでも公開されています。「臨済宗青年僧の会」で検索ください。



募集中

詳しくは龍雲寺まで

◆無相教会花園流御詠歌会員募集
お寺までご連絡下さい

◆早朝洗心坐禅会(初回のみ要予約)
※現在休止中 オンライン開催

毎週日曜日
朝6時30分～8時30分(6時開門)
会費 無料

※初回参加の方のみ予約が必要となります。詳しくはホームページをご覧ください。

◆写経会(初回のみ要予約)

※現在休止中 再開未定
毎月第2土曜日 1時～4時
(但し、2月は第3土曜、7月、8月はお休み)
納経料は一卷500円(龍雲寺に納経)

◆龍雲寺厚木墓地のご案内

厚木市・開修寺墓苑内に龍雲寺檀徒用の墓地を造成しました。龍雲寺檀徒としてお付き合いをさせていただきます。

◆龍雲寺てらこや子ども論語塾

全国各地で定例講座をされている安岡定子先生をお招きしての論語の素読教室です。

※感染症対策をとりながら再開しております
【日時】毎月第一日曜日
※3月・8月 休会

午後3時から
【参加費】大人800円、子ども無料
(家族料金800円)

申し込み、お問い合わせはお寺まで

○他にも龍雲寺では開基の会・茶道部・獅子舞・子ども会・かっぱれ・ヨーガ等があります。

